

3年間の支えに感謝

花北青雲高 総合生活科 保護者へ学習成果披露

花巻



保護者感謝会で学習成果を披露する花北青雲高生

県立花北青雲高校(遠藤敏夫校長、生徒468人)総合生活科の保護者

感謝会は29日、花巻市石鳥谷町の同校で開かれた。卒業を間近に控えた同科の生徒36人が、紙芝居や劇の披露、手作りのランチで保護者をおもてなし。3年間の高校生活を支えてくれた家族に感謝の気持ちを伝えた。

同科で卒業式前に開かれている恒例のイベントで、生徒と保護者ら約70人が参加。児童・高齢者福祉が参加。児童・高齢者福祉が参加。児童・高齢者福祉が参加。

祉コース生が子供たちのために学習した寸劇などを披露したほか、地域生活文化コース生が「照り焼きチキンロール」や「わかめと白菜のスー」など、生徒オリジナルレシピの手作りメニューで保護者らを歓待した。

食事の後は、生徒が保護者にお礼の気持ちをこめて贈った感謝カードを贈った。中には心のこもった言葉で埋め尽くした一枚を贈る生徒もあり、感謝のあまり、カードに涙をこぼす保護者もいた。

娘の寿里さんに招かれて感謝会に参加した小田島信子さんも、カードの内面いっぱいにつづられた感謝の言葉に大感激。「ほかの学校では経験できないような思いをさせてもらった。友人にも恵まれ、本当に良い高校生

平成25年1月30日(水) 岩手日日新聞
※この記事・写真は岩手日日新聞社の許諾を得て転載しています。